

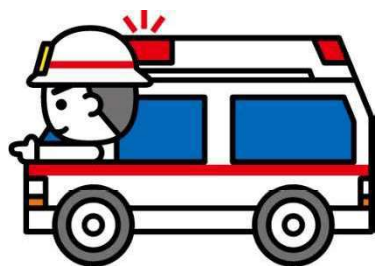
令和4年9月2日
消 防 庁

令和4年度「救急の日」及び「救急医療週間」

- 「救急の日」及び「救急医療週間」は、救急業務及び救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識高揚を図ることを目的に、昭和57年に定められ、以来、9月9日を「救急の日」、この日を含む一週間（日曜日から土曜日まで）を「救急医療週間」としています。
- 期間中、消防庁、厚生労働省、都道府県、市町村、全国消防長会、公益社団法人日本医師会、一般社団法人日本救急医学会では、その他関係機関の協力を得て、全国各地において各種行事を開催します。
- 今年度の行事等の実施に当たっては、昨年度に引き続き、今般の新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、実技や実演などの対面、集合を伴うものについては、人数を制限する、延期やオンラインでの開催を検討するなど、感染拡大の防止に留意した上で、地域の実情に応じた対応をとるよう関係機関に求めています。
- 消防庁では、アニメーション動画を制作し、応急手当の普及啓発を図ります。

[参考]

- 救 急 の 日 … 9月9日（金）
- 救 急 医 療 週 間 … 9月4日（日）～9月10日（土）
- 救 急 功 労 者 表 彰 … 9月9日（金）13時30分～13時50分（予定）
KKRホテル東京11階「孔雀の間」
- アニメーション動画 … 9月2日（金）14時より消防庁ホームページで公開

URL：<https://www.fdma.go.jp/mission/enrichment/kyukyunohi/kyukyunohi001.html>

【連絡先】消防庁救急企画室 救急連携係

担当：小味、入江、尾形、大浦

TEL：03-5253-7529（直通） FAX：03-5253-7532

令和4年度「救急の日」及び「救急医療週間」

1 趣旨

「救急の日」及び「救急医療週間」は、救急業務及び救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識高揚を図ることを目的に、昭和57年に定められ、以来、9月9日を「救急の日」、この日を含む一週間（日曜日から土曜日まで）を「救急医療週間」としています。

期間中、消防庁、厚生労働省、都道府県、市町村、全国消防長会、公益社団法人日本医師会、一般社団法人日本救急医学会では、その他関係機関の協力を得て、(全国各地で各種行事を開催します。

2 令和4年度の日程

「救急の日」 9月9日（金）
「救急医療週間」 9月4日（日）～9月10日（土）

3 消防庁の実施行事等

(1) 救急功労者表彰

救急業務の推進に貢献し、社会公共の福祉の増進に顕著な功績があった個人及び団体を表彰するもので、総務大臣表彰は、個人表彰14名及び団体表彰1団体で、消防庁長官表彰は、個人表彰17名となっています。

- ①日 時 9月9日（金）13時30分～13時50分（予定）
- ②場 所 KKRホテル東京11階「孔雀の間」
東京都千代田区大手町1丁目4番1号
- ③受賞者名簿 別紙のとおり

(2) 「救急の日」及び「救急医療週間」の普及啓発

応急手当の普及啓発を図るため、厚生労働省、一般社団法人日本救急医学会、一般財団法人日本救急医療財団と協力して、アニメーション動画を制作します。

①公開日

9月2日（金）14時より消防庁ホームページ等で公開

URL:<https://www.fdma.go.jp/mission/enrichment/kyukyunohi/kyukyunohi001.html>

②内容

一般財団法人救急振興財団が制作した、救命の連鎖をテーマとする「救急の日」ポスターを映像化

4 その他の取り組み

- (1) 「救急の日」ポスター作成・配付（制作：一般財団法人救急振興財団）
今年度のポスターは、一人ひとりの行動が命を救うことになる「救命の連鎖」を将棋になぞらえてデザインされています。

救急の日ポスター



ポスターは一般財団法人救急振興財団を通じて、全国の消防本部や消防関係団体に配付しています。

- (2) 消防機関における実施行事等

今年度の行事等の実施に当たっては、今年度の新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、各消防機関で中止等の措置がとられている場合があります。

詳しくはお近くの消防機関にお問合わせください。

令和4年度救急功労者表彰 受賞者名簿

別紙

●総務大臣表彰対象者数

○個人表彰14名

(五十音順・敬称略)

いせいし 井 清司	72歳	産山村診療所 所長	熊本県
いなだ しんじ 稲田 眞治	57歳	日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院 第一救急科部長 兼 救命救急センター長	愛知県
いのうえ よしひろ 井上 義博	66歳	岩手医科大学 名誉教授	岩手県
おおた まさたか 太田 正隆	75歳	おおたクリニック 院長	三重県
かわかみ かずたけ 川上 一岳	68歳	新潟医療福祉大学 医療技術学部 救急救命学科 教授	宮城県
こうの まさのぶ 鴻野 公伸	65歳	兵庫県立西宮病院 副院長 兼 救命救急センター長・救急科部長	兵庫県
たかす あきら 高須 朗	62歳	大阪医科薬科大学 救急医学教室 教授 大阪医科薬科大学病院 救命救急センター センター長	大阪府
つぎき けん 津崎 建	66歳	医療法人英世会 つぎき循環器麻酔科クリニック 理事長	大分県
つじかわ ともゆき 辻川 知之	60歳	地方独立行政法人 公立甲賀病院 理事長 兼 院長	滋賀県
なかた やすひこ 中田 泰彦	60歳	医療法人社団創進会 みつわ台総合病院 病院長	千葉県
はしもと ゆうたろう 橋本 雄太郎	70歳	香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 客員教授	東京都
はなだ ひろゆき 花田 裕之	62歳	国立大学法人 弘前大学大学院医学研究科 救急・災害医学講座 教授 地域救急医療学講座 教授 国立大学法人 弘前大学医学部附属病院 高度救命救急センター センター長	青森県
まつもと あきのり 松本 昭憲	63歳	医療法人慈繁会付属 土屋病院 院長	福島県
わとう ゆきひろ 和藤 幸弘	66歳	金沢医科大学 救急医学講座 主任教授 金沢医科大学病院 救急医療センター 部長	石川県

○団体表彰1団体

いっばんざいだんほうじんどうゆうかい ふじさわしょうなんだいびょういん
一般財団法人同友会 藤沢湘南台病院

神奈川県

●消防庁長官表彰対象者数

○個人表彰17名

(五十音順・敬称略)

あいざわ みつのり 相澤 充則	59歳	富山市消防局 消防局長	富山県
うえの こうじ 上野 弘二	60歳	八代広域行政事務組合消防本部 八代消防署審議員	熊本県
うつみや すずむ 宇津宮 進	60歳	鳥取県西部広域行政管理組合消防局 予防課長	鳥取県
えんどう ひろゆき 遠藤 浩之	58歳	郡山地方広域消防組合消防本部 消防課長	福島県
きたやま かつひろ 北山 勝博	59歳	埼玉西部消防局 企画総務部長	埼玉県
しまだ とみじ 嶋田 富司	59歳	有田市消防本部 消防長	和歌山県
ちば まさはる 千葉 正晴	59歳	栗原市消防本部 次長	宮城県
つつみ かずよし 堤 和由	60歳	桐生市消防本部 桐生みどり消防署 署長	群馬県
ほそやまだ こうみ 細山田 孝美	58歳	霧島市消防局 消防局長	鹿児島県
ほり えいじ 堀 英治	47歳	堺市消防局 救急部 救急課長	大阪府
まつだ しげかつ 松田 繁勝	51歳	二戸地区広域行政事務組合消防本部 消防課 通信指令係長	岩手県
まつなが まなお 松永 真雄	54歳	広島市消防局 東消防署長	広島県
まつもと ゆたか 松本 裕	54歳	羽咋郡市広域圏事務組合消防本部 次長 兼 警防課長	石川県
みうら なおひと 三浦 直人	59歳	弘前地区消防事務組合消防本部 消防次長	青森県
みやの おさむ 宮野 収	62歳	杏林大学 保健学部 救急救命学科 特任教授	東京都
むらた やすひろ 村田 康裕	51歳	久留米広域消防本部 救急防災課 救急主幹	福岡県
やまぞえ ゆうじ 山添 裕司	56歳	東近江行政組合消防本部 消防本部主監 兼 総務課長	滋賀県